

平成31年度海老名市予算の概要

未来を創る ～進み続ける海老名～

予算規模

()内は対前年度比

◆**予算総額** 710億8,600万円 (17億4,300万円、2.5%増)

◆**一般会計** 438億2,900万円 (17億2,400万円、4.1%増)

◆**特別会計** 221億9,900万円 (3億900万円、1.4%増)

- ・国民健康保険事業特別会計 121億5,600万円 (△3億8,200万円、3.1%減)
- ・介護保険事業特別会計 83億7,600万円 (6億2,300万円、8.0%増)
- ・後期高齢者医療事業特別会計 16億6,700万円 (6,800万円、4.3%増)

◆**企業会計** 50億5,800万円 (△2億8,900万円、5.4%減)

- ・公共下水道事業会計 50億5,800万円 (△2億8,900万円、5.4%減)

予算規模は、一般会計、予算総額ともに過去最大となりました。

歳入（一般会計）

()内は対前年度比

○**市税** 237億6,800万円 (5億2,200万円、2.2%増) ※4年連続増、過去最大

- ・個人市民税 89億700万円 (1億8,000万円、2.1%増)
- ・法人市民税 20億700万円 (2億9,500万円、17.3%増)
- ・固定資産税 104億5,300万円 (2,500万円、0.2%増) ※過去最大

○**地方譲与税及び各種交付金** 34億3,600万円 (4億4,400万円、14.9%増)

○**基金繰入金** 6億1,000万円 (△6,800万円、10.0%減)

○**市債** 28億1,100万円 (2億9,900万円、11.9%増)

歳出（一般会計）

()内は対前年度比

○**義務的経費** 217億4,400万円 (8億4,100万円、4.0%増)

- ・人件費：72億2,500万円 (1,200万円、0.2%増)
- ・扶助費：114億7,600万円 (7億8,100万円、7.3%増)
- ・公債費：30億4,300万円 (4,800万円、1.6%増)

○**普通建設事業費** 50億5,600万円 (△3億5,400万円、6.5%減)

主要事業の概要

着実に歩みを進め、中長期的な視点を持ちながら、海老名の未来を創るべく、平成31年度予算は「未来を創る ～進み続ける海老名～」として編成いたしました。

にぎわいと活力あふれる元気なまちづくり

厚木駅南地区市街地再開発の推進 1億1,900万円

組合の事業進捗に合わせ、都市基盤の整備を推進します。
◇事業費：約79億円(見込み) 工事期間：平成32年度～平成34年度

海老名運動公園周辺地区土地区画整理の推進 700万円

組合への助言指導等の技術援助により、海老名運動公園周辺地区で行われている土地区画整理事業の推進を図ります。
◇事業費：約26億3,000万円(見込み) 工事期間：平成28年度～平成32年度

中央図書館・文化会館エリアにおける文化拠点の調査研究 400万円〈新規〉

文化会館、中央図書館等を中心とする海老名駅駅間地区を新たな文化発信の拠点区域として再構築するため、手法も含め同地区のあり方について調査研究を行います。



厚木駅南地区再開発イメージ



海老名駅駅間地区

安全・安心なまちづくり

(仮称) 消防署西分署の整備推進 2億4,500万円

人口増加が見込まれる上郷・下今泉地区に新たな分署を整備することにより、消防力の強化を図ります。

◇事業費：7億1,300万円(継続費) 工事期間：平成31年度～平成32年度

40mはしご車、北分署高規格救急車の更新 2億6,100万円〈新規〉

老朽化した消防車両を更新することで、万全な出動体制を整えます。

ロボットスーツ「HAL」や大型エアータントの導入 900万円〈新規〉

活動中の救急隊員の身体的負担の軽減や女性消防職員の活動のサポートのため、作業支援用ロボットスーツ「HAL(ハル)」を導入します。

国等からのプッシュ型支援物資の対応や庁舎が使用できない場合の災害対策本部として活用するため、雨天時等でも大型車両から荷下ろし等が行える大型エアータントを整備します。



救急隊活動時のイメージ



大型エアータント

元気で健康なまちづくり

BCG予防接種と1歳6か月歯科健診の個別化 1,800万円〈新規〉

受診者の利便性を考慮し、医療機関における個別化へ移行します。

高齢者、中学3年生インフルエンザ予防接種助成 7,800万円

平成30年度より実施している助成事業を継続し、引き続き感染拡大防止および重症化予防に努めます。

海老名版オーラルフレイル事業の普及促進 1,800万円〈新規〉

県モデル事業から対象を拡大し、市独自事業として「オーラルフレイル健診」を実施し、口腔機能の低下予防に努めます。



オーラルフレイル検査で使用する舌圧計

安心して子育てができるまちづくり

母と子の相談支援事業の創設 1,400万円〈新規〉

子どもの発育・発達に不安を感じている保護者に対し、常時相談を受けられる体制を整え、日常生活や就学に対応できるよう支援を行います。

子ども健康管理情報の一元化 1,100万円〈新規〉

乳幼児からの健康情報を学校の健康管理システムに連結し、中学校卒業まで切れ目のない健康管理システムを確立します。

市立小中学校修学旅行への補助 2,700万円〈新規〉

児童生徒の保護者の負担軽減を図るため、児童生徒の修学旅行に要する経費に対し補助金を交付するとともに費用負担の適正化に向け、研究を行います。



誰もがいきいきと暮らせるまちづくり

第二高齢者生きがい会館の開設 900万円〈新規〉

高齢者の就労機会の拡大を図るため、新たな施設として開設します。

子どもの学習・生活支援事業の創設 300万円〈新規〉

生活困窮世帯の子どもに対する学習・生活支援(居場所作り)を実施し、貧困の連鎖を防ぎます。



環境に優しいまちづくり

一部有料化及び戸別収集導入によるごみ減量化の推進 1億5,500万円〈新規〉

家庭ごみの一部有料化や戸別収集を実施することにより、ごみの減量化を推進し、環境に対する意識の啓発を図ります。

資源化センターの大規模改修工事 10億7,900万円

平成29年度から大規模改修工事に取り組んでいた資源化センターが処理能力を拡充し、11月に再稼働します。

◇事業費:20億1,000万円(継続費) 工事期間:平成29年度～平成31年度

路上喫煙禁止区域の設定 700万円〈新規〉

海老名駅周辺を路上喫煙禁止区域として定め、区域内の指定喫煙場所以外での路上喫煙を禁止することで、まちの美化推進を図ります。



戸別収集モデル事業の様子



便利で快適なまちづくり

(仮称) 上郷河原口線、並木橋歩道橋架設事業の整備推進 14億1,000万円

海老名駅東西を結ぶ周辺道路の交通渋滞の緩和に向けて、道路交通の円滑化と利便性の向上を図ります。

◇事業費(上郷河原口):30億円(継続費) 工事期間:平成28年度～平成32年度

◇事業費(並木橋):13億5,000万円(継続費) 工事期間:平成30年度～平成34年度

相鉄海老名駅舎及び北口駅前広場の整備推進 3億7,500万円

北口改札設置を含む相鉄海老名駅の整備に伴い、連絡通路や北口駅前広場の整備に取り組むことで、駅施設利用者の安全性及び利便性の向上を図ります。

◇事業費(駅舎):64億円(見込み) 工事期間:平成28年度～平成33年度

交通弱者に対する移動支援の推進 1,600万円〈新規〉

南部地区において、公共施設や鉄道駅など利用頻度の高い施設等を結ぶ

“のりあいワゴン”による実証運行を実施し、利用圏域の検証と有効となる施策の研究を行います。並木橋歩道仮設イメージ

杉久保コミュニティセンターの大規模改修工事 1億2,500万円

築26年経過し老朽化が進んでいることから、大規模改修工事を実施します。

◇事業費:3億1,000万円(継続費) 工事期間:平成31年度～32年度



次世代を見据えた都市経営

若者定住促進家賃補助事業、奨学金返還補助事業の継続 4,500万円

若者・学生の定住の促進を図るため、市外から転入する学生や奨学金を返還している30歳未満の若者に対して引き続き補助を行います。

「えび〜にゃコンシェルジュ」の導入 1,200万円〈新規〉

市ホームページのコンシェルジュ機能にチャットボットとLINEを活用した新たなコミュニケーションツールを導入し、市民サービスの向上を図ります。



モバイルレジ・クレジットサービスの実施 300万円〈新規〉

納税者の利便性の向上及び収納率の向上を図るため、コンビニ・銀行へ行くことなく、モバイルレジ及びクレジットカードで簡単に支払うことができるサービスを導入します。

その他の重点事業

プレミアム付商品券の発行 7億円（発行予定額）

消費増税対策として、全市民を対象としたプレミアム付商品券を発行することにより、消費の落ち込みを抑制するとともに、地域経済の活性化を図ります。

ラグビーワールドカップ普及事業 200万円

ラグビーワールドカップの公認キャンプ地として、関係者、市民等が一体となり、市全体で大会を盛り上げるとともに、キャンプを行うロシアチームの紹介とラグビーの普及を図ります。



市債及び基金残高の状況

○平成31年度の市債残高は414億1,000万円（前年度比1億6,800万円の減）、基金残高は68億8,800万円（前年度比1,100万円の減）となる見込みです。

（単位：千円）

区分	平成29年度末	平成30年度末	増減額	平成31年度末	増減額
市債残高	40,434,776	41,578,210	1,143,434	41,410,017	△168,193
一般会計	27,100,315	28,282,992	1,182,677	28,280,986	△2,006
企業会計	13,334,461	13,295,218	△39,243	13,129,031	△166,187
基金残高	6,607,806	6,899,345	291,539	6,888,448	△10,897
財政調整基金	2,611,528	2,583,858	△27,670	2,586,589	2,731
新まちづくり基金	1,818,126	1,710,866	△107,260	1,398,425	△312,441
公共施設等あんしん基金	1,695,069	2,156,764	461,695	2,524,619	367,855
その他基金	483,083	447,857	△35,226	378,815	△69,042

注：特別会計で管理する基金は除いています。

お問い合わせ先

海老名市 財務部 企画財政課
電話 046-235-8453（直通）
FAX 046-233-9118
E-Mail zaisei@city.ebina.kanagawa.jp